



国際会長主題	「フェロウシップとインパクトで次の100年へ」	Samuel Chacko (インド)
アジア太平洋地域会長主題	「新しい時代とともに、エレガントに変化を」	Chen Ming Chen (台湾)
東日本区理事主題	「未来に向けて今すぐ行動しよう」	佐藤重良 (甲府21)
東新部部長主題	「All 東新部、始動! Change! 2022 ラストスパート、ポスト2022 始動」	深尾香子 (東京多摩みなみ)
クラブ会長主題	「心を尽くしてYMCAのために」	小川圭一 (東京世田谷)

会長 小川 圭一
副会長
書記

2022年11月会報

強調テーマ

* B F *

Brotherhood Fund

会計 小原 武夫
直前会長 峰 毅
担当主事 江尻 明子

↑ 今月の聖句

同じように、わたしはあなたたちの老いる日まで
白髪になるまで、背負って行こう。

わたしはあなたたちを造った。

わたしが担い、背負い、救い出す。

I am your God and will take care of you
until you are old and your hair is gray.

I made you and will care for you;

I will give you help and rescue you.

旧約聖書 イザヤ書 46章4節 (小川 選)

- | | |
|-------------------------|----------|
| 司会 | 峰 毅 君 |
| 1. 開会点鐘 | 小川 圭一 会長 |
| 2. ワイズソングと信条 | 一 同 |
| 3. ゲストとビジター紹介 | 小川 圭一 会長 |
| 4. 今月の聖句朗読 | 寺門 文雄 君 |
| 5. 「自分史を語る」 | 大江 浩 氏 |
| 社会福祉法人興望館常務理事・興望館こども園園長 | |
| 6. ハッピーバースデイ | なし |
| 7. 結婚記念日 | なし |
| 8. ニコニコ献金 | |
| 9. 諸報告 | |
| 10. 閉会点鐘 | 小川 圭一 会長 |

※ 11月例会プログラム

とき 令和4年11月18日(金) 18:30~19:30

ところ 東京YMCA南コミュニティーセンター3F

電話 03-3420-5361

ハイブリッド開催

10月のデータ	会員在籍	14名	例会出席者 10/21日(金)	9月のBF他献金	ニコニコファンド 9月 5,021円 年度計 22,861円
	出席率	71%	会員 11名	切手 0g	
	第2例会	(中止)	メネット 0名	現金 0円	
			イキャップ 0名	累計切手 0g	
			ゲスト 8名		
			ビジター(含むzoom) 2名		
			合計 21名		
			すずらん会 (中止)	2021~2022年度	
			ゲスト 名	自主献金については今期に限り	
			スタッフ 名	クラブからの献金とする	
			合計 名		
			新型コロナウイルスの影響で		

本日のメインプログラム

卓話：「大江 浩 自分史を語る」

学生時代のキャンプリーダー・ボランティア活動に始まり、キリスト教との出会いや現在に至るまでのキャリアを通して出会った人々や出来事・体験のエピソードをお話いただきます。

大学時代／心理学を専攻。キャンプリーダー活動に従事
職歴／神戸YMCA⇒横浜YMCA⇒日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）⇒日本YMCA同盟を経て、社会福祉法人興望館へ（現在に至る）。1995年の阪神・淡路大震災以降は、YMCAの国内外の緊急支援活動に従事し、JOCSでは途上国への保健医療協力活動に携わった。現在は、墨田区の興望館というキリスト教精神に基づく地域福祉事業（セツルメント）団体に子ども家庭福祉に関わっている。

※ 10月例会報告

（卓話要旨）



熊本YMCA阿蘇キャンプ

- ・萩原すみれ（パオ） ハギワラスミレさん

東日本区ユースボランティア

リーダーズフォーラム 9/30-10/2

東京YMCA山中湖センター

- ・横江将太（シドニー） ヨコエショウタさん
- ・先山智（ロン） サキヤマサトルさん
- ・徳永岳大（がく） トクナガタケヒロさん



YMCAの活動の特長の一つに「リーダー」と呼ばれる学生ボランティアの存在があります。彼らは、子どもたちのよき「お兄さん、お姉さん」として、準備の段階から活動に関わり、入念にトレーニングを重ね、当日は子供たちと行動を共にし、終了後の振り返りまで行きます。YMCAの活動をユニークにしているリーダーからのお話をうかがいます。

熊本YMCA阿蘇キャンプに参加（9月末）

萩原すみれ（パオ）さん：

基調講演で社会学者・宮台真司氏のお話を伺い、かなりの刺激を受けた。YMCAに関わることで何が出来るのか、各センターの参加者で、話し合う機会を持てた。自然の中、良い環境のもとで、素晴らしい時間を過ごせた。

東日本区ユースボランティア・リーダーズフォーラム 東京YMCA山中湖センターに参加（9/30～10/2）

横江翔太（シドニー）君、先山智（ロン）君、徳永岳大（がく）君

小倉 哲氏（元Libyスタッフ）による基調講演。

個人 individual から分人 dividual へ。

対人関係ごとに自分が分化する。複数の人格を持つ。職場、学校、バイト先、家庭、SNSなどで、分化した複数の自分のバランスを考えつつ、その中にひとつでも好きな「分人」があれば、そこを足場に生きていけばいいということ、分かりやすくお話しいただいた。

「今、ボランティア・リーダーに求められることは」と題し、グループごとに熱いディスカッションが繰り広げられた。

相手を知り、自分を知る。他人の良さを知り、自分の良さも。関わり方、考え方、向き合い方。

東京では見ることが出来なかった、無数の星空を眺め、前向きの姿で、子どもたちの背中を押してあげたいと。リーダーについて、YMCAについて考える有意義な機会となった。



山中湖センター リーダーズフォーラム

第 26 回東新部部大会

10月8日(土)13:30~16:40、在日本韓国 YMCA9F

リアル出席は47名、オンライン出席は12名、計59名

第1部式典、深尾香子部長：挨拶。

部大会のテーマ「初心に帰って、ユースの声に耳を傾けよう」海外にルーツをもつ子どもたちをキーワードとして皆さんと共に考える機会にと話された。

祝辞：東日本区理事佐藤重良さん、東京 YMCA 総主事菅谷淳さん、在日本韓国 YMCA 総務朱幸亨さん

昨年度の東新部表彰：

部長表彰：城井廣邦さん（東京むかで）

CS 部門表彰：東京多摩みなみクラブ

第2部研修：、部大会実行委員長の加藤義孝さん(東京)

「YMCA・ユース・ワイズのパートナーシップがあるからこそ出来ること」を学びたいと。

発題1、NPO 法人メタノイア代表の山田拓路さん、「海外にルーツを持つ子どもたちへの支援について」プレゼン。日本 YMCA 同盟とも連携して、ウクライナからの避難民の子どもたちの支援にも関わっていると。

発題2、在日本韓国 YMCA 主事の田附和久さん「海外にルーツを持つ親・子どもたちへの支援について」主に在日朝鮮人の歴史的背景を解説、在日2世、3世の現在。

発題3、韓国の伝統楽器カヤグムの演奏。金幸子さん
金美仙さん。

リアル参加者による懇親会后、次期部長の今井武彦さん(東京むかで)点鐘で閉会。

※ YMCA 保育園ねがい

おやこでガーデニング案内

11月19日(土)11:00~

いよいよ球根の植え込みを

(チューリップ、ヒヤシンス、クロッカス、百合などを)

参加可能なクラブメンバーの皆様は10:00に保育園へお出かけください。

※ 三茶にサンタがやってくる

子どもたちへのプレゼント代にあてる5,000円/口の寄付12/4(日)のイベントでのサンタ役です。

12/4(日)は、みんなで本当にサンタの格好をし、三軒茶屋を練り歩いたり、サンタだけが乗る貸し切りの世田谷線にのったりして、子どもたちを楽しませます。

まさに、プレゼントを送り、子どもたちを楽しませるリアルサンタと一緒にしてくれる人を募集です。

申し込みは、こちらから入力いただき、以下にお振込みください。

*<https://forms.gle/Unqp7si6mNteS5FP8>

<<https://forms.gle/Unqp7si6mNteS5FP8>>*

<振込先>

みずほ銀行 世田谷支店 (212) 普通預金*3082861*

三茶にサンタがやってくる実行委員会 宛

サンチャニサンタガヤッテクルジッコウイインカイ

また、子どものクリスマスプレゼントになるものを募集しています。

使わなくなった楽器、シルバニア、ストライダー、スクーターなど頂けるとありがたいです。

詳しくは、世田谷プレゼントバンク

<https://uidd2.hp.peraichi.com/presentbank>

※ ハワイ・カイムキクラブ 60周年

2023年4月15日(土)60周年を迎えます



※ 会長通信 2211

ズーム会議全盛の良さ、遠隔地の会合に簡単に参加出来ます。

過日、十勝の山下ワイズのお勧めで北海道 YMCA の会員大会にお邪魔しました。

広大な北海道で展開されるキャンプやたくさんのプログラムの報告に元気を頂きました。その中の分科会、北見ランチの皆さんとのお話し。YMCA のウクライナ支援はとても大切。一方で、北海道 YMCA のキャンプに参加しているロシアの青年たちのことを、兵士としてウクライナに送られるのではと心配しているという事でした。

ロシアは勿論世界中の YMCA と力を合わせて平和を作るために頑張ろう。そして、祈り会いましょう。東京でもチャリティイベントなど頑張りますと、エールを交換しました。

世田谷クラブは、1月7日の在京ワイズ新年会のホストとして頑張ります。

1. 「第 36 回インターナショナル・チャリティーラン」は、今年も歩数計アプリを利用したウォーキングイベントとして開催。10月15日～22日の「らくらくウォーク」(個人参加)には118人が、10月22～30日の「チームレース」には46チーム706人が参加。期間中の10月22日に都立木場公園内に設けた「フォトスポット」には、参加者やその家族など約80人が立ち寄り、スタッフとの交流や写真撮影等を楽しんだ。「らくらくウォーク」「チームレース」を合わると、総歩数は1億797万6,364歩。距離に換算しますと約75,583Km。昨年よりも約220万歩増え、地球およそ1.9周分となりました。

2. ウクライナ支援募金は第1期(開始～4月)、第2期(5～8月)合わせて11,238,924円が寄せられた。東京YMCAはウクライナYMCAに2回にわたり合計\$30,000を送金し、ウクライナYMCAが現地で行う子どもたちをケアする活動などを支援している。12月14日には、ウクライナYMCA総主事他から現地の様子や支援活動について聞く「ウクライナ支援報告会」をオンラインで開催する予定。

3. 11月4日(水)冬・春のプログラムの募集が開始された。インフルエンザと共に何回目かの感染拡大も心配される中ではあるが、子どもたちの体験の機会を確保するため、ボランティアリーダーの活躍の機会を守るためにも、安全に留意しながら、トレーニングやキャンプを実施していく予定である。早くも多くのキャンプがキャンセル待ちの状況となっている。

▽ 今後の主な行事日程 ▽

- ・11月20日(日) 「ソシアス2022」 オンライン
講演：川平朝清氏(元NHKアナウンサー・昭和女子大学名誉教授)
「沖縄復帰50年と平和について」
- ・11月25日(金)～27日(日)
「第22回日本YMCA大会」
会場：日本YMCA同盟東山荘
(及びオンライン)

- ・11月26日(土)
「子どもの育ちを考える講演会」 オンライン
(高等学院主催)

講師：田中哲氏(児童精神科医)
テーマ：「教室に入れない～子どもたちをとりまく『何か』」

- ・11月27日(日)
山手センター70周年記念
「OB OG・現役リーダー会」
会場：山手センター

「風を呼びゴウゴウと唸る逆巻く紅蓮の炎は、天に沖している(略)ああ、国宝、私たちの誇り、沖縄の象徴たる唐破風が燃えていく」。首里城である。1945年、沖縄戦でのさまを学徒兵だった渡久山朝章さんが目撃した(『南の巖の果てまで』)▼まさか、同じような光景をこの目で見ようとは。3年前だ。かつての赴任中に見慣れたシルエットが火の粉を吹き上げて崩れる。言葉を失った。涙を浮かべ焼け跡を見つめる女性の映像が記憶に濃い。失って初めて、存在が自分の中に根付いていたと気づいた。そんな地元の声もあった。▼きょう、正殿復元の起工式が現地で行われる。梁にする長さ9メートルの材木を街中で引きまわし、歌や踊りで盛大に祝う。あの泣き顔も、笑顔に戻ると信じたい▼かつて琉球王国は、中国や東南アジアとの貿易で栄えた。工芸技術の粋をつくした正殿は「巨大な琉球漆器」と称された。焼失前の首里城は、沖縄にとって、独自の歴史と文化の象徴であったのだ▼同時に、日本が多様で豊かな水脈から成り立つことを教えてくれる存在であったように思う。それゆえだろう。全国から4千人以上のボランティアが集まったと聞く。貴重な赤瓦を再利用するために、焼き付いたすすを払う。小さな思いが積み重なった▼首里の丘に立てば、慶良間の島影をいだいた海から、柔らかな風が吹いてくる。突き抜ける青い空。その下にたたずむ鮮やかな朱い姿。「私たちの誇り」を見られる日が待ち遠しい。
朝日新聞 天声人語 2022.11.3より